

令和6年度の振り返り



ご説明事項

- ✓ ERCAのご紹介
- ✓ 静岡における熱中症発生状況
- ✓ 静岡県内における熱中症対策取組事例

ERCAのご紹介

ERCAのご紹介

独立行政法人
環境再生保全機構
ERCA Environmental Restoration and Conservation Agency

Environmental Restoration and Conservation Agency

環境政策の実施機関として、①公害に係る**健康被害の補償・予防**、②**石綿健康被害**の救済、③環境政策に貢献する**研究・技術開発等の推進**、④民間団体が行う**環境保全活動の支援**、などを実施

設立 平成16年4月1日
本部 神奈川県川崎市
組織 8部1室 169人
予算 516億円 (支出)

人の命と環境を守る取組

石綿健康被害者救済

年約1,300人救済
(累計約1.7万人)



公害健康被害補償・予防

(S63までに認定された)

ぜん息等認定患者3万人に補償給付

8,000事業所等から賦課金(344億円)を徴収

科学技術・イノベーション

環境研究総合推進費業務

5領域161課題の公募による
研究開発を推進(50億円)



2325BA103 「極端高温等が暑熱健康に及ぼす影響と適応策に関する研究」

人への投資

NPOの環境活動を支援

R5 161件
活動基盤の強化、多様な主体との連携・協働等の促進

高校生の環境活動を表彰

R5 115件応募
若手の人材育成の強化

気候変動適応策

熱中症対策の推進

地域の熱中症対策の先進事例の水平展開
(地域モデル事業支援)
改正気候変動適応法の公布 (R5 5/12)
(ERCAへ熱中症対策業務が追加)

ERCA熱中症対策事業の概要

気候変動適応法及び独立行政法人環境再生保全機構法の一部を改正する法律に基づき、令和6年4月1日から熱中症警戒アラート等の発表の前提となる情報の整理・分析等や、地域における熱中症対策推進に関する情報の提供等がERCAの業務に新たに追加されました。



1 熱中症警戒アラート等の発表の前提となる情報の整理・分析

暑さ指数(熱中症警戒情報の運用期間外を含む。)及びその他の情報と、それらの健康影響の関係等の情報収集を実施。

今後の専門家による議論や、環境省による熱中症特別警戒情報の発表等に活用される予定。



2 熱中症対策地域モデル事業

熱中症対策に関する優良事例を創出する他、各地での取組事例の収集や共有等により、地方公共団体等による熱中症対策を支援。



3 熱中症対策研修

全国の熱中症関係部局を対象に、取組事例を全国に水平展開するための研修を実施します。

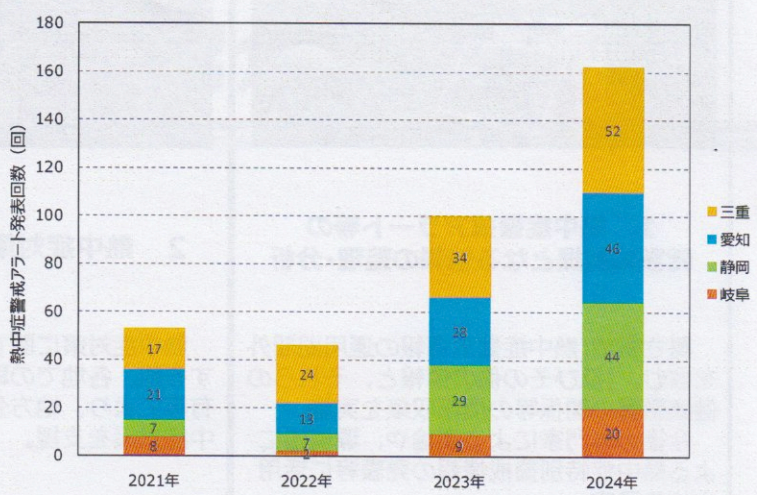
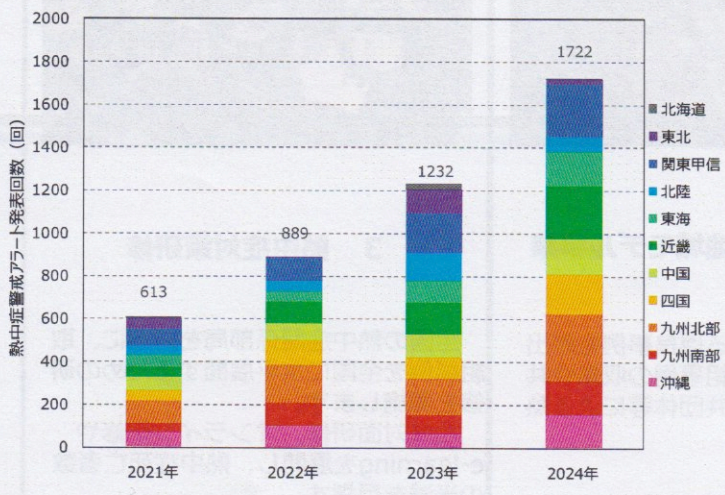
地域対面研修、オンライン研修やe-learningを展開し、熱中症死亡者数の半減を目指す。

静岡における熱中症発生状況

今夏の振り返り ①熱中症警戒情報(熱中症警戒アラート)発表回数

発表回数は2021年から増加し続け、2024年は全国で1,722回となった。

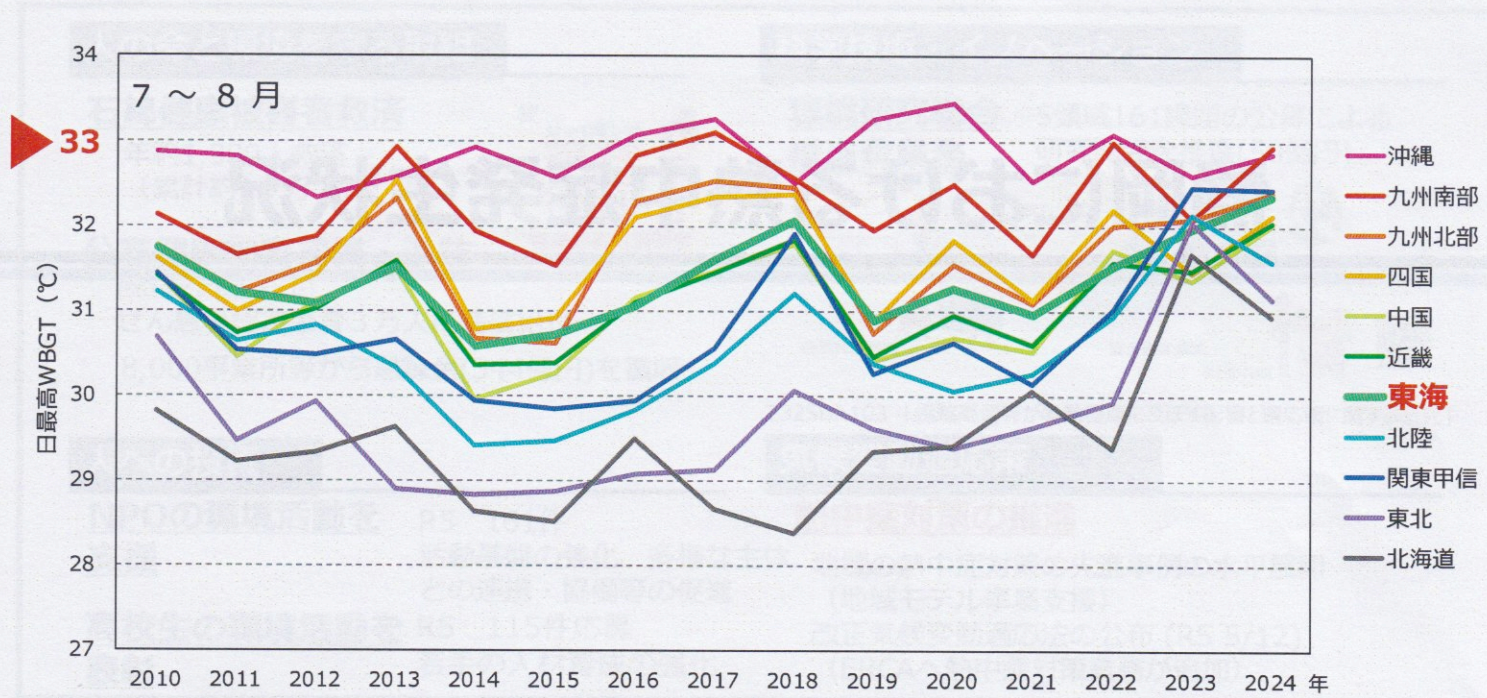
東海では2024年に162回(2023年は100回)を記録した。このうち静岡では44回(2023年は29回)発表された。



都道府県の熱中症警戒情報発表回数を地域別に集計した。地域は気象庁の11予報区分(以下、同様) 環境省熱中症予防情報サイトのデータをもとに(独)環境再生保全機構が作成

今夏の振り返り ②地域別の日最高暑さ指数(WBGT)の推移

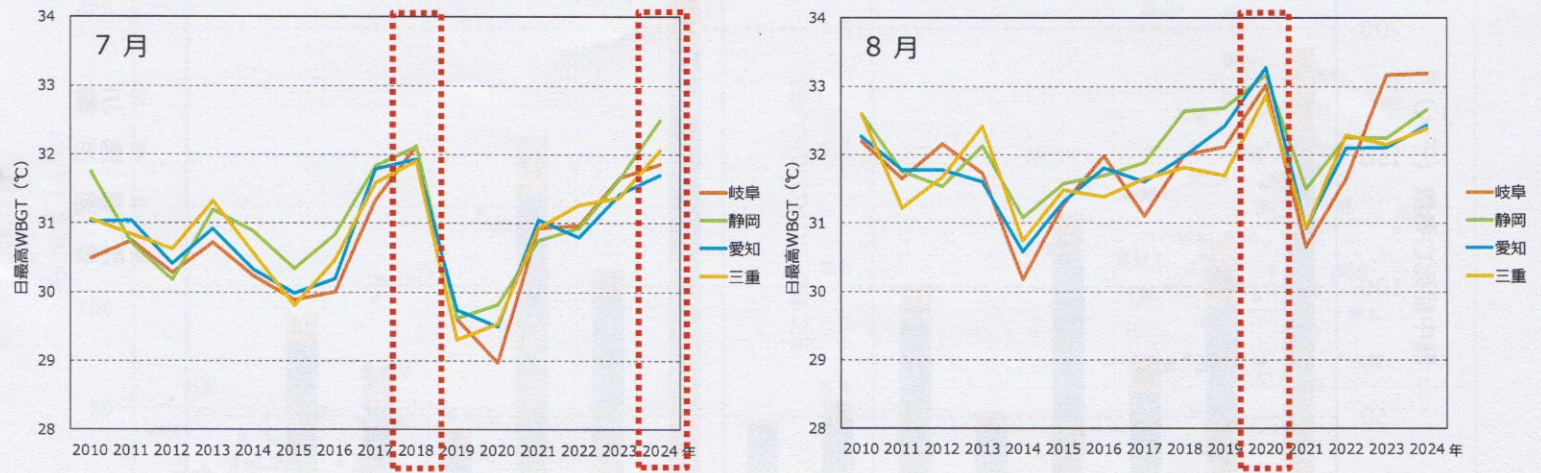
東海の夏の暑さ(7~8月平均)は、WBGT32以下で推移していたが、2024年には32を超えた。



都道府県内日最高WBGTの地域別平均値(環境省熱中症予防情報サイトのデータをもとに(独)環境再生保全機構が作成)

今夏の振り返り ③地域別の日最高暑さ指数(WBGT)の推移[月別]

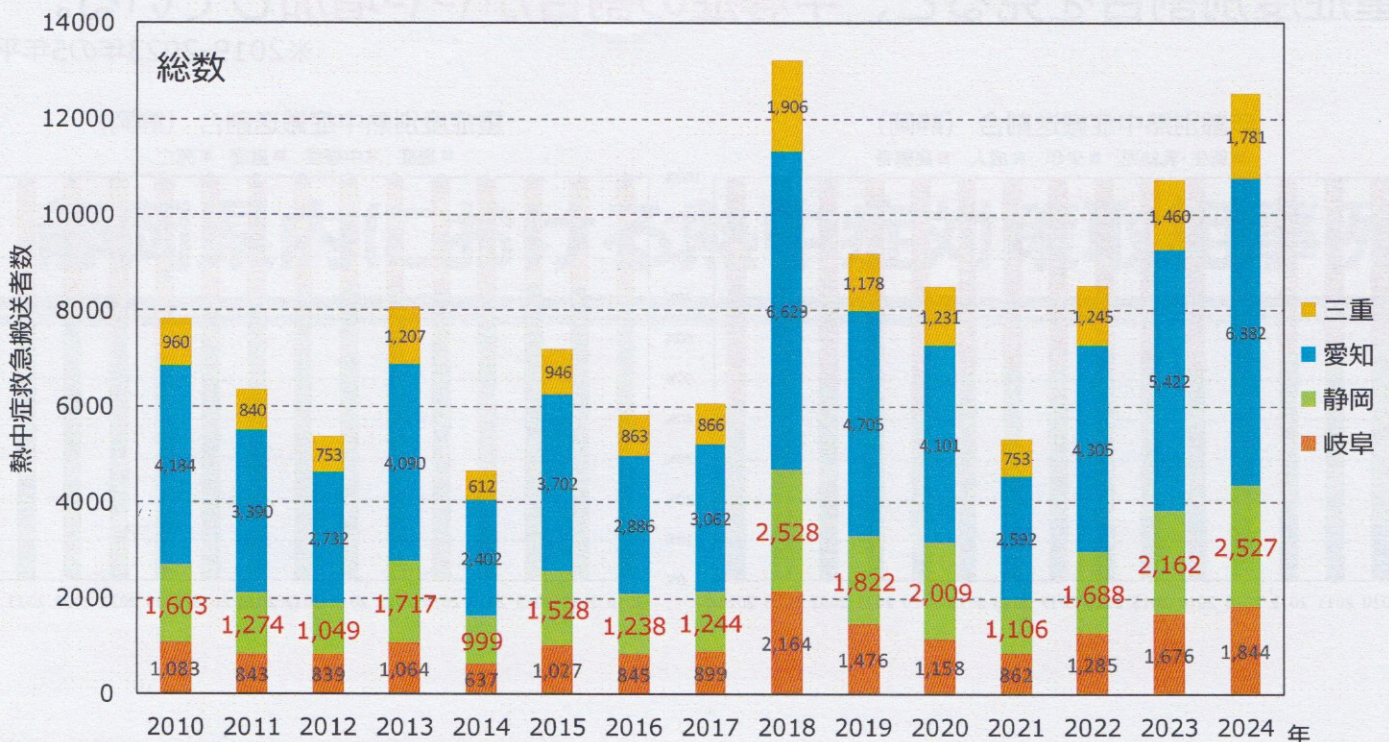
静岡では、7月が暑い年(2018、2024年)と8月が暑い年(2020年)がある。



東海地域の県内日最高WBGTの平均値(環境省熱中症予防情報サイトのデータをもとに(独)環境再生保全機構が作成)

今夏の振り返り ④静岡県の熱中症救急搬送者数の推移

静岡県における熱中症救急搬送は、7月の暑さが厳しかった2018、2024年に多かった。

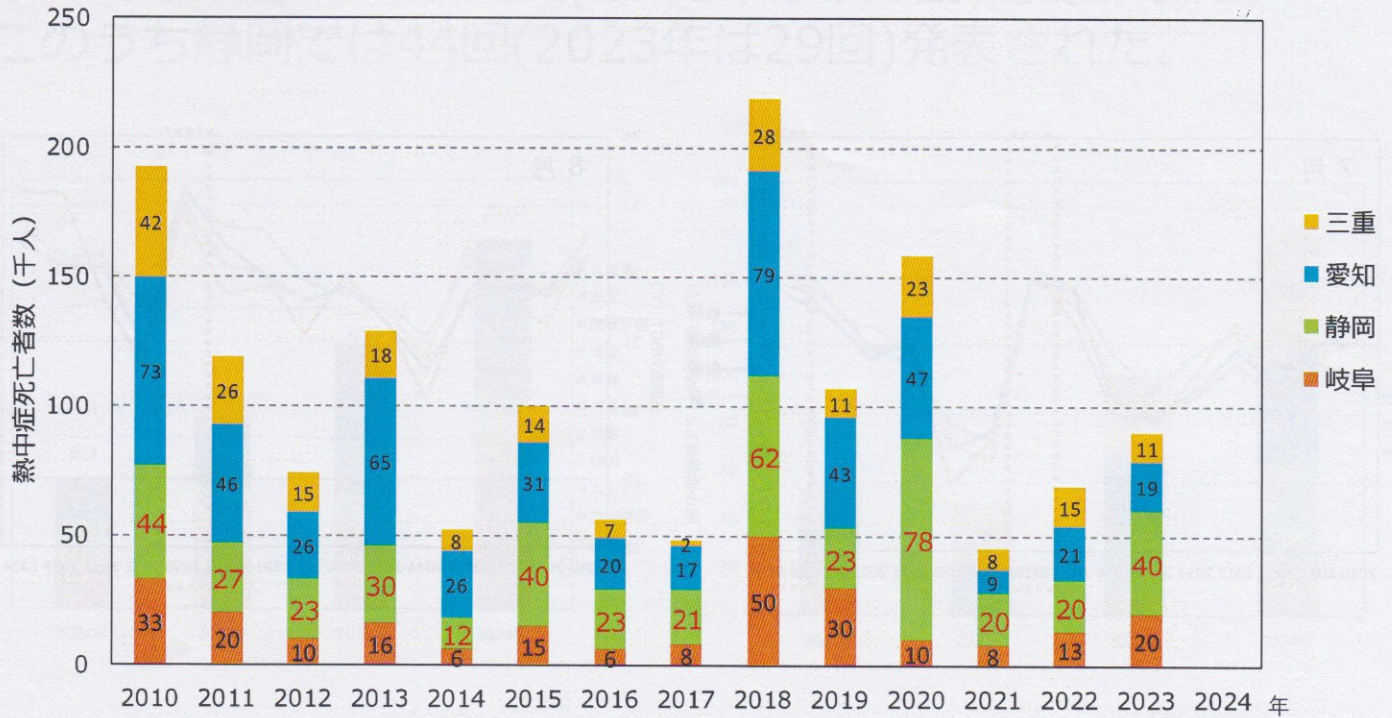


総務省消防庁のデータをもとに(独)環境再生保全機構が作成。

2010~2014年6~9月、2015~2019年5~9月、2020年6月~9月、2021~2024年5月~9月

今夏の振り返り ⑤ 静岡県の熱中症死亡者数の推移

静岡県における熱中症死亡は、**2020年が最多で78人**となった。
2020年は、静岡県内の**8月の日最高WBGTの平均値が33を
超えた年**である。



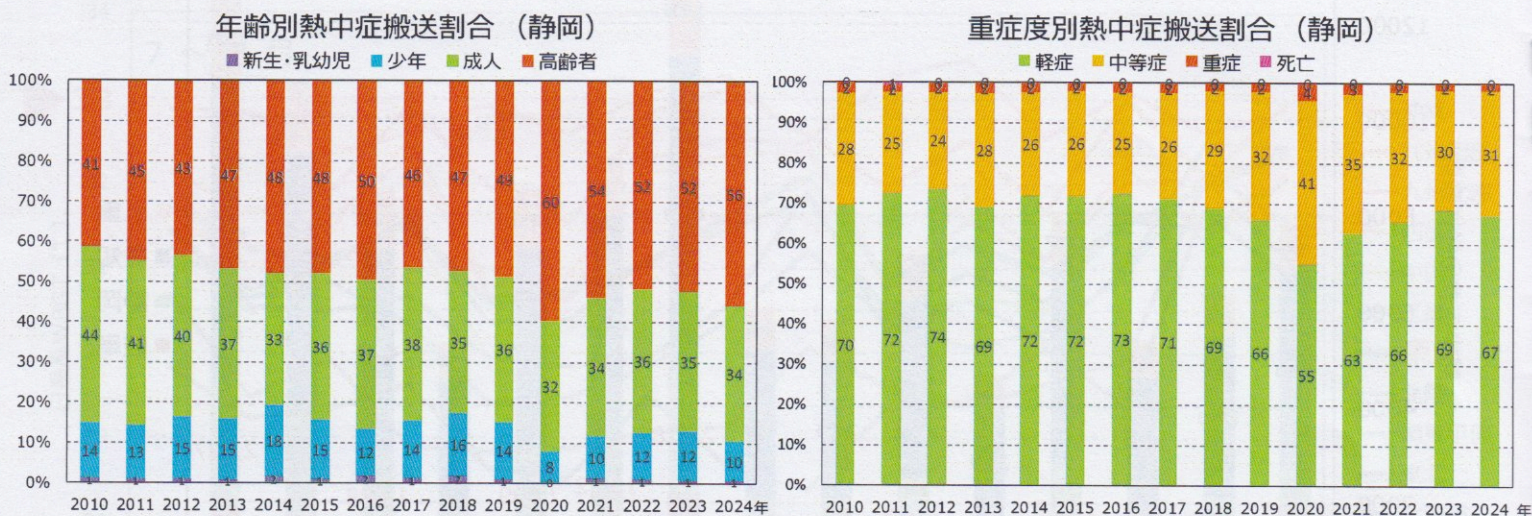
総務省消防庁のデータをもとに(独)環境再生保全機構が作成。住所地が外国、不詳を含む。
2010~2014年6~9月、2015~2019年5~9月、2020年6月~9月、2021~2024年5月~9月

今夏の振り返り ⑥ 年齢別・重症度別の熱中症救急搬送の割合の推移

熱中症救急搬送の年齢別割合は、少年と成人が減り、**高齢者の割合が増加**している。

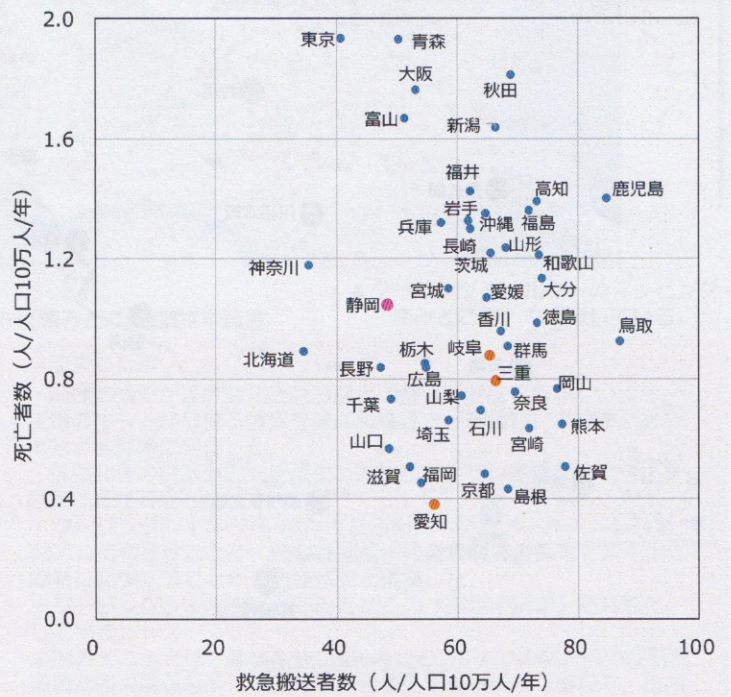
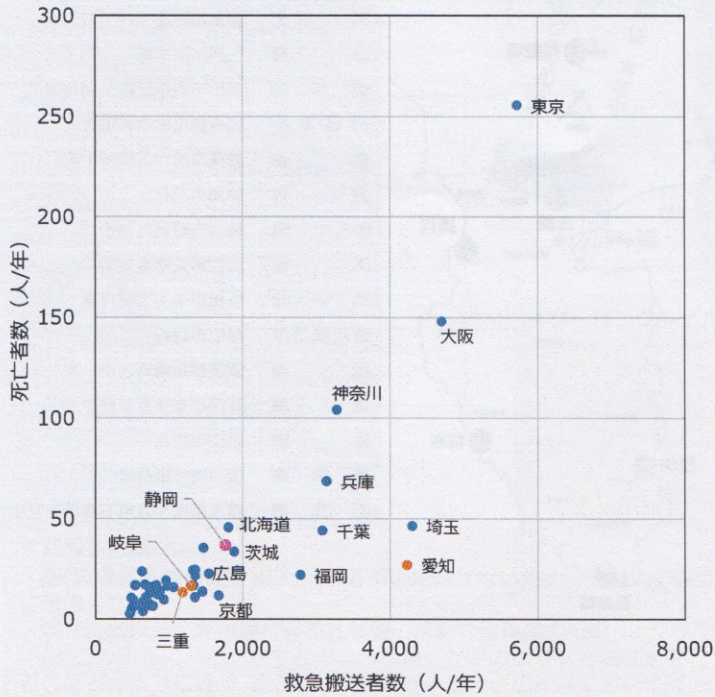
重症度別割合を見ると、**中等症の割合がやや増加**している。

※2019-2023年の5年平均



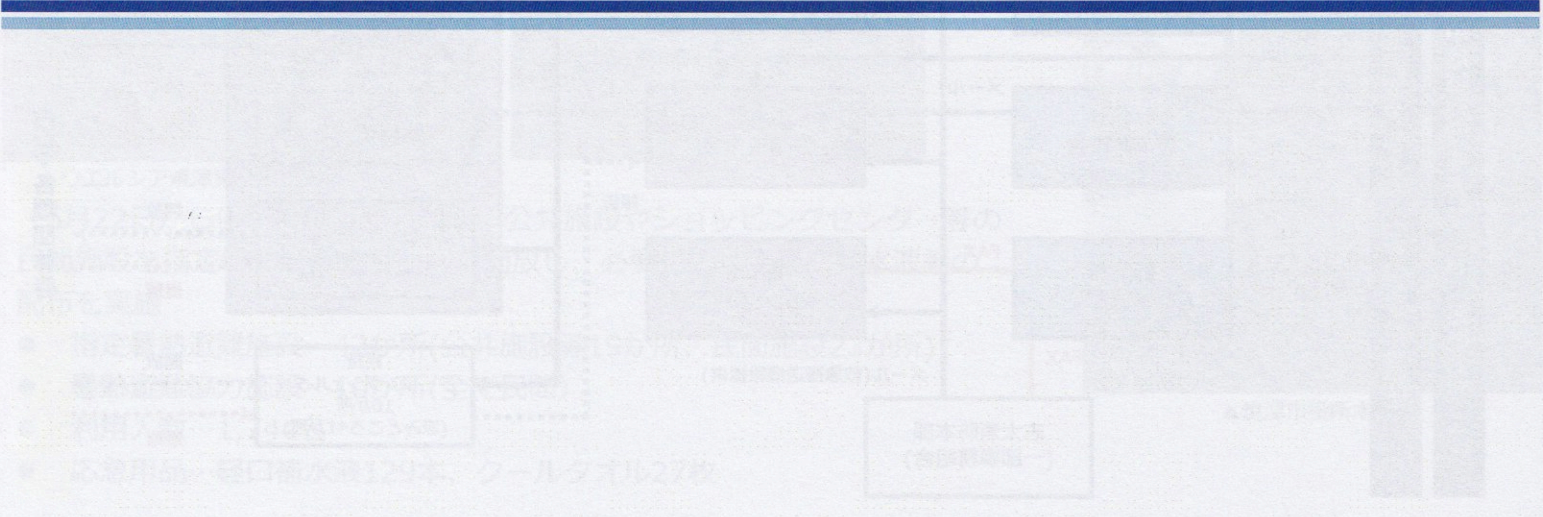
静岡県は人口あたり熱中症救急搬送は全国平均よりやや低め、熱中症死亡は全国平均。東海のなかでは静岡県の熱中症救急搬送は最低、熱中症死亡は最高。

※2019-2023年の5年平均

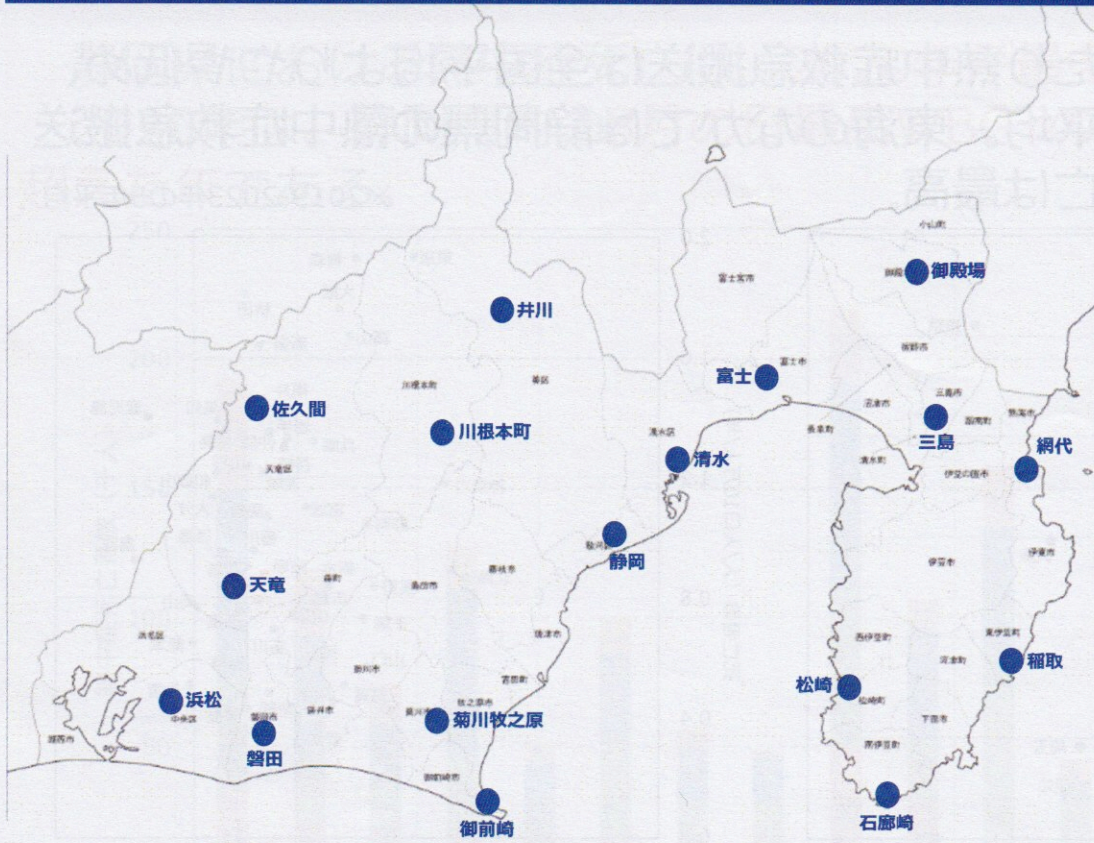


熱中症救急搬送:総務省消防庁、熱中症死亡:厚生労働省提供の人口動態調査(死亡票)をもとに(独)環境再生保全機構が作成
各都道府県の人口は、2020年の国勢調査を用いた。

静岡県内における熱中症対策取組事例



静岡県内の暑さ指数観測地点



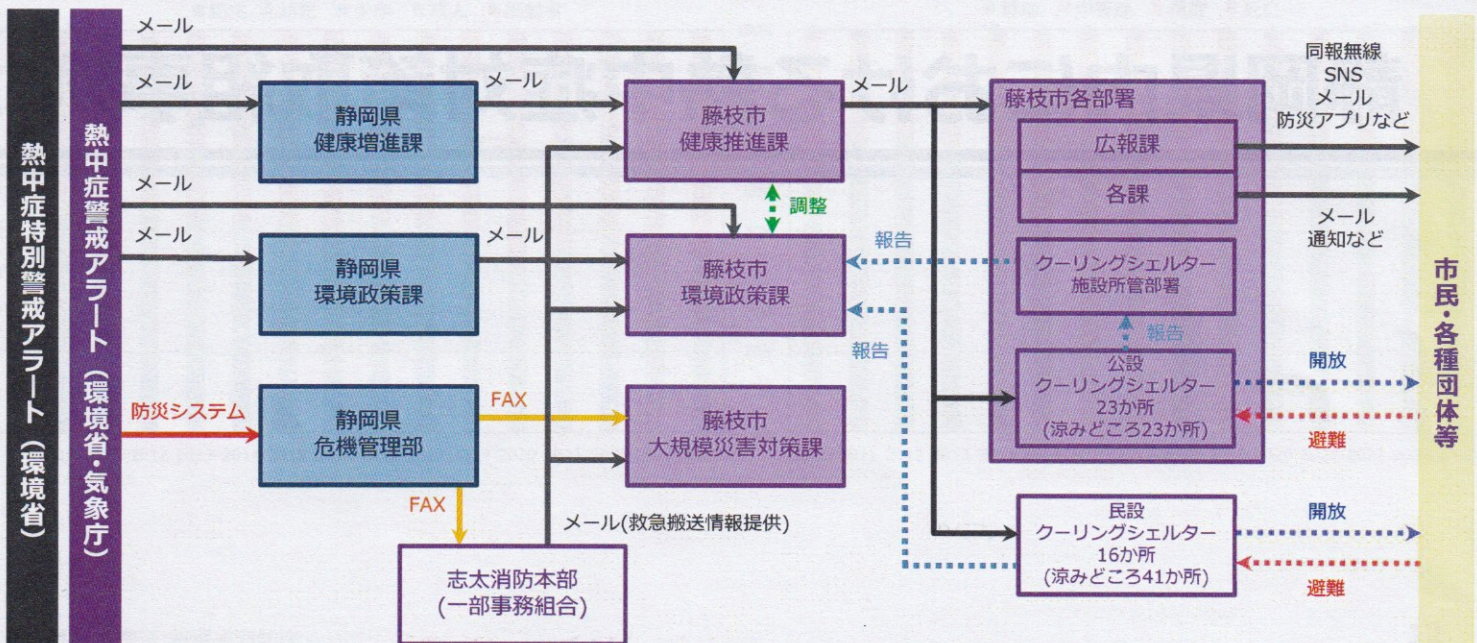
観測所名	所在地
井川	静岡市葵区井川
御殿場	御殿場市萩原
富士	富士市厚原
三島	三島市東本町
佐久間	浜松市天竜区佐久間町浦川
川根本町	榛原郡川根本町田代
清水	静岡市清水区興津中町
網代	熱海市網代
静岡	静岡市駿河区曲金
天竜	浜松市天竜区船明
浜松	浜松市中央区高丘東
菊川牧之原	菊川市倉沢
松崎	賀茂郡松崎町江奈
稲取	賀茂郡東伊豆町稲取
磐田	磐田市南島
御前崎	御前崎市御前崎
石廊崎	賀茂郡南伊豆町石廊崎石室山

https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/R06_point_list.pdf

藤枝市による特別警戒アラート対応

【体制づくりに向けた手順】

- これまでの熱中症警戒情報の体制を確認
(どこの部署にどこからどのような通知がどのような方法で届いて、どこにどのように通知・転送しているか)
- 熱中症特別警戒情報についてもこれまでの警戒情報同様の対応で可能か確認
(他部署含め、他部署の上位機関についてもそれぞれ確認)
- 志太消防本部とは、これまで熱中症という観点での情報共有を図っていなかったが、年度途中から熱中症に関する特設ページを開設し、管内における搬送者数を掲載したことに伴い、市内の搬送者に関する情報を共有することにした。また、藤枝市からも各課の取組など情報を共有している。



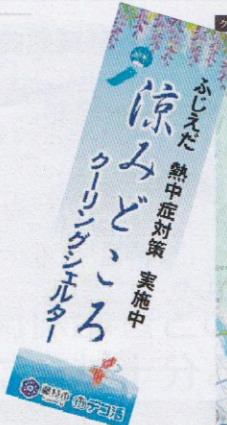
藤枝市による特別警戒アラート対応

第1号様式(第4条関係)
 藤枝市「クーリングシェルター(涼みどころ)」指定申請書

藤枝市長 印
 申請者 藤 22 名
 施設名称 管理事務所

藤枝市の熱中症対策として、藤枝市「クーリングシェルター(涼みどころ)」の指定等に關する要綱第4条に基づき、次のとおり申請します。

開放可能日時	
受け入れ人数	
開放場所	1. 椅子又はベンチ() 2. テーブル() 3. その他()
担当名称	
電話番号	
担当氏名	
メールアドレス	
備考	希望する開放方法に○を記入してください。クーリングシェルター・涼みどころが必要な数を記入してください。のぼり旗()、旗()、ポスター()



▲のぼり旗



▲クーリングシェルターのマッピング「涼みどころ」も網羅している。

◀クーリングシェルター(涼みどころ)指定申請書

■苦労した点

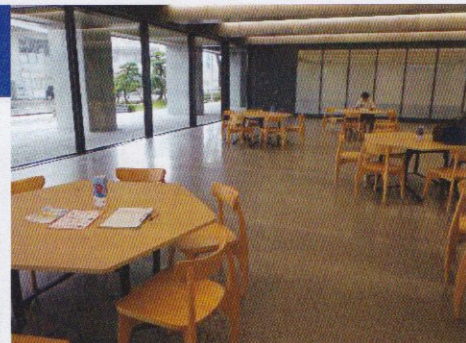
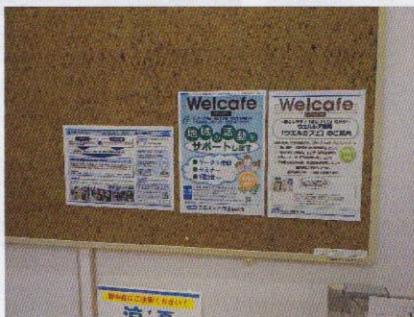
- ・国(環境省環境保健部)に対応する市の組織がないため、組織内の調整に苦慮した。
- ・現状における、熱中症に伴う各部署の情報の全体像の把握(どこの部署に、どこからどのような通知がどのような方法で来て、どこにどのように通知・転送等しているか。また、広報課においては、どのタイミングでどのような手段で市民に伝えるか。など)

※令和6年度のヒアリングによる

■工夫した点

- ・同様の通知が複数通知されるなどの情報の混乱を招かないよう、複数のルートから来る情報を健康推進課で一元化し、とりまとめた上で、各部署に発信した。
- ・情報発信の役割分担を明確化したことにより、迅速な情報伝達を図ることが可能となった。
- ・クーリングシェルター・涼みどころ指名申請にメールアドレスを記入してもらうことで、熱中症警戒情報発表時等の情報をメールで即時に提供することができる体制を構築した。
 ※クーリングシェルターと涼みどころの「指定申請書」を共通化している。
- ※涼みどころとは、藤枝市独自に6月から9月までの間、熱中症警戒情報発表に関係なく、市民に涼をとる空間を提供する施設で、市内64か所(令和6年9月30日現在)。

焼津市によるクーリングシェルター対応



▲ウエルシア焼津東小川店

5月22日から9月30日までの期間、公共施設やショッピングセンター等の民間施設を指定暑熱避難施設として開放し、必要に応じて経口補水液等の配布を実施

- 指定暑熱避難施設…42か所(公共施設等19か所、民間施設23か所)
- 暑熱避難協力施設…10か所(全て民間)
- 利用人数…1,744名
- 応急用品…経口補水液129本、クールタオル27枚

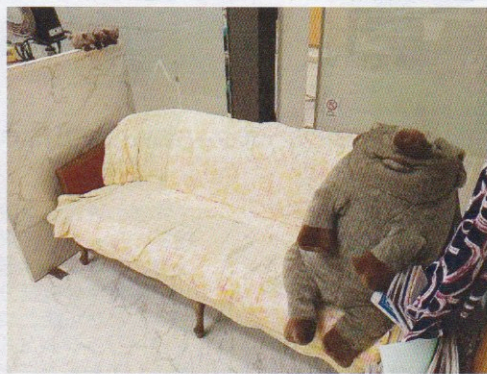
▲焼津市役所本庁舎

静岡県美容業生活同業組合(静岡県美容組合)による活動

- 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)の考え方に賛同した静岡県美容業生活衛生同業組合による活動
静岡市のほか、浜松市や掛川市でも同様に展開中。
- 組合は支部長を通じ写真や情報を集め、組合員116店舗の協力(令和6年9月30日時点)を得る。静岡市との協定をとりまとめ。教育委員会を通じて静岡市内のすべての小・中学校に、組合が独自に制作したポスターを配布。
- 厚生労働省「理容所及び美容所における衛生管理要領」に“待合所”を設置する規定があることから、これをクーリングシェルターに援用。



▲静岡市制作のポスター
サイズは3種類用意されている。



▲待合所
場合により作業場の美容椅子も利用できる。



▲組合が独自に制作したポスター

■ 苦労した点

市と個別店舗になると連絡や調整が難しいので、とりまとめ部分を組合が担った。「協定書」には店舗の写真を含めるものとして、その写真や店舗情報の収集で支部長にはご苦労をいただいた。

■ 工夫した点

児童・生徒にも、暑いときには美容室でも休息ができることを伝えたい。すべての小・中学校の校長先生宛に手紙とポスターを送付して、理解と周知を促した。

静岡県環境衛生科学研究所と焼津市とのディスカッション



▲ディスカッションの様子

今年度の研究概要
気候変動による暑熱・健康等への影響に関する研究
(県事業名: 気候変動適応推進事業)

市街地における暑熱環境調査

- 温度センサーによる観測(現地実測)
志太地域(焼津市・藤枝市)の小中学校26箇所等で実施
- WBGTの算出及び検討
公開データを活用したWBGT算出値と実測値の比較検討
- 熱中症関連者数とWBGTの関係を検討
過去のデータを活用して、搬送者数の整理

今年度の研究概要
○ 温度センサーによる観測(現地実測)
*5~9月、志太地域(焼津市・藤枝市)の小中学校27箇所及び場所4か所、計28箇所において、温度センサーによる観測(計測)を実施中

今年度の研究概要
志太地域の人口(R2国勢調査資料から作成)

総数 65歳以上

今年度の研究概要
熱中症搬送場所(R1-R5)

カラー図解参照。熱発生に相関関係のあるところを赤色、人口密度・年齢構成と相関関係を示す。

静岡県環境衛生科学研究所からは、志太地域におけるWBGTの研究結果について資料をもとにご説明頂いた。焼津市健康福祉部健康づくり課【※当機構によるR6モデル事業実施自治体】からは、焼津市における熱中症対策の取組をご説明いただくとともに、複数のクーリングシェルターをご案内いただいた。

焼津市からは「熱中症対策を進める上で暑熱環境や搬送者数等に関するデータは重要であるものの、入手が難しかった。今後も研究所からご提供いただけるとありがたい。」との意見を頂いた。

👉「環境」と「健康」「保健」といった部局間のつながりも非常に重要。

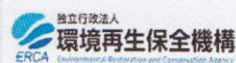
<今後の見通し>

- ・今夏も暑い夏が予想される
- ・令和6年の熱中症死亡者数は全国で2,000人を超える見込み
(厚生労働省 人口動態統計(概数))
- ・特に高齢者の死亡者数が高止まりであり、高齢化を考慮したより一層の取組が必要
- ・地方公共団体における関係部署との連携体制の構築については、以前より進んでいるものの、まだまだ十分とはいえない。

<令和7年度の方向性>

- ・熱中症死亡者数減を目的とした、より具体的な研修、モデル事業を実施
- ・関係部署の連携を促す働きかけ

今後の取組については、ERCAホームページをご覧ください。



熱中症対策

熱中症対策業務

自治体ページ

指定暑熱避難施設 熱中症警戒情報



ERCA熱中症対策ホームページ
ぜひこちらをご覧ください。

<https://www.erca.go.jp/heatstroke/index.html>

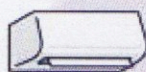
ご清聴ありがとうございました



熱中症警戒アラートをチェック!



見守り・声かけ!



適切にエアコンを使おう!



こまめに水分・塩分を補給!

お気軽に
お問い合わせ
ください!

○熱中症対策に関するお問合せ○
独立行政法人環境再生保全機構
熱中症対策部地域熱中症対策課
044-520-9584
heat@erca.go.jp